

徳島市立学校適正規模・適正配置等検討委員会

**第 3 回
会 議 資 料**

徳島市役所 1 3 階 第 1 研修室

令和 7 年 7 月 1 6 日（水）午前 1 0 時から

徳 島 市

会 議 資 料

【目 次】

| | |------| | 議題 1 | |------| 第 2 回検討委員会でのご意見とその対応

1 アンケート調査内容について	・・・・・・・・・・	1
2 付帯的検討事項について	・・・・・・・・・・	2
3 適正規模・適正配置について	・・・・・・・・・・	2

| | |------| | 議題 2 | |------| アンケート調査結果を踏まえた、適正規模・適正配置等に向けた検討（第 2 回）

1 アンケート調査の回答状況	・・・・・・・・・・	3
2 アンケート調査項目一覧(対象者別)	・・・・・・・・・・	4
3 アンケート調査結果(質問項目別・得票率比較)	・・・・・・・・・・	5

| | |-----------| | 参 考 一 別 冊 | |-----------| アンケート調査結果

第2回検討委員会でのご意見とその対応

1 【アンケート調査内容について】

No	意見・指摘事項	対応内容	
1	「適正」の表現を「標準」に改める	×	国と同様に現状維持
2	アンケート内に検討会資料や検討内容を把握できる環境追加	○	説明・QRコードの追加
3	大規模校と小規模校を分けて集計	○	対応予定
4	「複式学級」に対する質問・理解を促す	○	教員負担は選択項目とし、 複式学級に対する質問を追加
5	国の定める基準・制度は削除	△	誘導する内容の基準・制度は削除
6	どのような特色ある教育に一層、力を入れる必要	△	教員用から削除
7	事務局記載の吹き出しの下線部については、すべて事務局案どおり修正・追記する		
	Q1：どのような力を伸ばすことに、一層、力を入れる必要	△	教員用から削除
	(1) 「思考力」「判断力」「表現力」「学びに向かう力」を追加	△	・思考力・判断力・表現力は追加 ・学びに向かう力はQ1(2)を追加
	(2) 「主体的な学びと探求力」を追加	○	追加
	(3) 「多様な協議する力」を追加	×	既存の「自他の尊重」等に含まれる
	(4) 「情報活用力と情報リテラシー」を追加	○	追加
	(5) 「創造性」を追加	○	既存の「創意工夫」へ統合追記
	Q2：どのような特色ある教育を受けさせたいか		
	(1) 「地域共創型プロジェクト学習」を追加	○	追加
	(2) 「STEAM教育を核とした探求的な学び」を追加	○	既存の「STEAM教育」に加筆
	(3) 「他者への寛容な心や他者を認める態度などの人権教育」を追加	○	追加
	Q3～6：1学年あたりクラス数、1クラスあたり人数		
	(1) 各質問の「最低」を問う質問の追加	○	追加
	(2) 複式学級についての理解を求める	○	質問を追記
	Q8：最低学級、最低クラス人数の理由	×	既存の選択維持
	Q9、9-2：クラス替えの必要性		
	(1) 「必要か」を「絶対必要か」に改める	×	極論は威圧的に取られやすい

(2) クラス替えの代替案は、どのようなものが考えられるか、を問う	×	提案を望む質問は避ける (その他記述欄あり)
Q14：小規模校の良さについて		
(1) 保護者と地域向けには、小規模校の定義を追加	○	追加
(2) 「友達がいつも同じで関係性が深まる」を「良い関係性」に改める	○	改正
Q15：小規模校の課題について		
(1) 「友達がいつも同じで好ましくない関係性が深まる」を追加	○	追加
(2) 「教職員の負担が大きくなる」を追加	○	追加
Q17：適正規模・適正配置で重視すべき点について		
(1) 保護者と地域向けには「適正規模・適正配置」の定義を追加	○	追加
Q18：地域コミュニティが学校に求める機能について		
(1) 質問の意図がよくわからない	○	「地域コミュニティ」を「地域の一員として」に改める

2 【付带的検討事項について】のご意見

1 プール施設について

- (1) 小学校では、様々な手法・場所において実技を継続できるよう努め、施設も存続に努める
- (2) 中学校では、座学の履修は継続するものの、実技およびプール施設については廃止

2 給食調理場については、集約化・センター化を進める

3 校舎・プール・給食施設等の既存施設については、統合・廃止後の利用手段を速やかに決定する必要がある

3 【適正規模・適正配置について】のご意見

1 複式学級についての議論を、今後、深めていく

2 小規模校存続の手法・基準の議論を、今後、深めていく

※小規模校では子どもの環境づくりに加え、教職員の負担の増加を考慮すべき

アンケート調査の回答状況 ～令和7年6月20日現在～

(単位：人)

対 象	回答者数	対象者数(5/1 現在)	回答率(%)
市在住の住民	207	—	—
市立小学5・6年生	2,779	3,502	79.4
市立全中学生	4,059	5,476	74.1
市立小・中学校の全職員	746	1,413	52.8
市立小・中学生の保護者	2,811	(児童生徒数 16,704)	—
合 計	10,602	—	—

アンケート調査項目一覧(対象者別)

項 目	委員	保護者	地域	小学生	中学生	教職員
【基本項目(回答者)について】						
回答者の年齢		○	○		○	○
学校現場での職種						○
在籍(近隣)学校名		○	○	○	○	○
学校施設への訪問理由・頻度			○			
対象児童生徒の学年		○		○	○	
在籍(近隣)学校の規模・児童生徒数		○		○	○	○
通学方法・通学時間		○		○	○	
学校で伸ばしたい力				○	○	
学校での処遇、環境				○	○	
【学校の適正規模・適正配置について】						
学校に期待する「育む力」	○	○	○			
学校に期待する特色ある教育	○	○				
1 小学校あたりの望ましい学級数	○	○	○	○		○
1 小学校あたりの最低学級数		○	○	○		○
小学校 1 学級あたりの望ましい児童数	○	○	○	○		○
小学校 1 学級あたりの最低児童数		○	○	○		○
1 中学校あたりの望ましい学級数	○	○	○		○	○
1 中学校あたりの最低学級数		○	○		○	○
中学校 1 学級あたりの望ましい生徒数	○	○	○		○	○
中学校 1 学級あたりの最低生徒数		○	○		○	○
複式学級について		○	○	○	○	○
上記、規模感を選択した理由	○	○	○			○
上記、規模感で心配するもの	○	○	○			○
クラス替えの必要性	○	○	○	○	○	○
クラス替えの必要性を判断した理由	○	○	○	○	○	○
小学生の通学時間の許容範囲	○	○	○			○
中学生の通学時間の許容範囲	○	○	○			○
小学生の望ましい通学方法	○	○				
中学生の望ましい通学方法	○	○				
小規模校の良さ	○	○	○			
小規模校の課題(◎学習・生活と運営)	○	○	○			◎
学校の再配置(統廃合)の必要性	○	○	○			○
学校適正規模・適正配置で重視すべき点	○	○	○			○
地域の一員として学校に求める機能	○	○	○			○
今後、学校に期待する環境、処遇の変化				○	○	

アンケート結果（質問項目別・得票率（得票数／回答者数）比較）

小規模校(区)別掲 保護者・地域・小学生は、新町・方上・宮井・不動・一宮・川内南・入田・北井上・応神の各小学校区在住、在校者
教職員・中学生は、不動・入田・応神・北井上・上八万・津田の各中学校に在籍、在校者

－ 学校の適正規模・適正配置について －

Q.1 あなたは、学校が児童生徒のどのような力を伸ばすことに、一層、力を入れる必要があると思いますか。（その他を含め3つ以内）

（単位；％）

No	回 答	全 体			小規模校(区)	
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	保護者 283人	地 域 51人
1	基礎的な知識や技能	41.7	54.5	49.8	54.1	51.0
2	情報活用力と情報リテラシー		11.7	6.8	8.1	—
3	基本的な生活習慣	16.7	16.3	25.6	11.7	15.7
4	健康・体力の向上		17.4	26.6	16.3	15.7
5	主体的な学びと探求心		29.9	34.8	31.8	37.3
6	自主性・自律	66.7	28.8	18.8	31.4	25.5
7	責任感	25.0	11.0	11.6	10.6	5.9
8	創意工夫（・創造性）	33.3	9.9	11.6	6.4	17.6
9	思考力・判断力		32.1	21.3	32.9	29.4
10	表現力		4.3	2.9	4.6	2.0
11	思いやり・協力	58.3	53.3	46.9	51.6	47.1
12	自他の生命尊重・自然愛護	—	6.3	10.6	5.3	15.7
13	勤労・奉仕的精神	8.3	1.8	6.3	4.6	7.8
14	公正性・公平性	—	4.2	6.3	3.2	5.9
15	公共心・公德心	33.3	8.2	10.1	10.6	7.8
16	その他		0.4	2.9	0.7	5.9

Q.1-2 あなたは、学校でどのような「ちから」を伸ばしたいですか。

(その他を含め3つ以内)

(単位：%)

No	回 答	全 体		小規模校(区)	
		小学生 2,779人	中学生 4,059人	小学生 269人	中学生 443人
1	生活のなかでの必要な学力や能力	54.8	62.4	53.5	59.6
2	礼儀や節度を守る習慣	31.9	33.1	30.9	33.0
3	心身の健康と体力	28.7	24.9	27.5	26.0
4	自分で考え、判断し、行動する力	40.9	46.0	39.8	45.1
5	自分の役割をやり抜き、責任をもつ	15.7	18.1	18.6	17.8
6	新しいことを考え、工夫する力	18.4	14.6	20.1	14.9
7	思いやりと感謝・尊重の心	26.6	33.1	27.1	34.1
8	命や自然を愛する心	26.5	11.4	29.0	11.1
9	進んで仕事や奉仕する力	8.2	10.6	8.6	12.0
10	正と不正を見極め、差別や偏見なく行動する力	14.6	14.8	11.9	16.7
11	社会の人々のために守るべき心	12.6	8.3	12.6	7.4
12	その他	1.4	1.1	0.7	0.9

Q.2 あなたは、学校でお子様にどのような特色ある教育を受けさせたいですか。

(その他を含め3つ以内)

(単位：%)

No	回 答	全 体		小規模校(区)
		委 員 12人	保護者 2,811人	保護者 283人
1	プログラミングなどのICT教育	33.3	34.6	31.1
2	外国語(英語)教育	25.0	46.7	44.9
3	運動・スポーツ	8.3	22.7	19.4
4	音楽、美術等の芸術	25.0	8.4	6.7
5	将来の職業を意識したキャリア教育	16.7	32.3	37.1
6	地域共創型プロジェクト学習		7.4	6.0
7	STEAMスティーム教育(を核とした探求的な学び)	33.3	12.4	9.2
8	自然体験活動などの体験教育	25.0	33.2	32.2
9	集団で課題を解決する教育	58.3	31.3	29.0
10	他者への寛容な心や他者を認める態度などを含む人権教育		29.1	30.4
11	小中学校が連携した教育	—	8.8	12.7
12	地域と連携した教育	41.7	9.5	14.1
13	その他		1.3	1.8

Q.3 小学校の 1 学校(1 学年)あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(単位：%)

No	回 答	全 体					小規模校(区)			
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	小学生 2,779人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	小学生 269人	教職員 147人
1	(1 学年 6 学級)	—								
2	(1 学年 5 学級)	—								
3	(1 学年 4 学級)	—			27.1				4.1	
4	1 8 学級程度以上(1 学年 3 学級)	50.0	56.1	43.5	40.5	48.8	18.4	23.5	16.7	33.3
5	1 2 学級程度(1 学年 2 学級)	50.0	30.2	38.6	24.6	44.2	50.2	45.1	26.8	51.7
6	6 学級程度(1 学年 1 学級)	8.3	4.7	9.7	6.6	3.8	18.4	23.5	50.6	11.6
7	4～5 学級 ※複式学級あり		3.4	2.9		1.5	1.4	2.0		0.7
8	2～3 学級 ※複式学級あり		4.9	4.3		1.5	8.8	5.9		2.7
9	1 学級 ※複式学級あり		0.7	1.0	1.2	0.3	2.8	—	1.9	—

Q.4 また、小学校の 1 学校(1 学年)あたり、少なくとも何学級が必要と思いますか。

(単位：％)

No	回 答	全 体				小規模校(区)			
		保護者 2,811人	地 域 207人	小学生 2,779人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	小学生 269人	教職員 147人
1	(1 学年 4 学級)			16.2				2.2	
2	1 8 学級程度以上(1 学年 3 学級)	27.5	20.8	34.5	16.9	6.0	5.9	4.5	9.5
3	1 2 学級程度(1 学年 2 学級)	44.3	39.6	38.2	44.0	35.0	39.2	33.5	40.1
4	6 学級程度(1 学年 1 学級)	19.0	30.0	9.8	34.3	45.2	52.9	57.6	44.2
5	4～5 学級 ※複式学級あり	2.5	2.4		1.6	0.7	—		0.7
6	2～3 学級 ※複式学級あり	5.5	4.3		2.3	8.8	—		3.4
7	1 学級 ※複式学級あり	1.2	2.9	1.2	0.9	4.2	2.0	2.2	2.0

Q.5 小学校の 1 学級あたりの児童数は、どの程度が望ましいと思いますか。

(単位：％)

No	回 答	全 体					小規模校(区)			
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	小学生 2,779人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	小学生 269人	教職員 147人
1	4 0 人程度	—	1.1	1.0	4.4	—	0.7	2.0	3.0	—
2	3 5 人程度	16.7	4.7	6.8	20.8	0.4	2.5	2.0	7.4	—
3	3 0 人程度	33.3	36.7	42.5	42.1	17.6	21.9	45.1	28.3	13.6
4	2 5 人程度	50.0	41.4	27.1	20.5	55.1	35.7	23.5	24.9	53.1
5	2 0 人程度	33.3	13.8	18.8	7.2	25.1	28.6	19.6	13.8	29.3
6	1 5 人程度	16.7	1.8	2.4	2.5	1.7	7.8	5.9	10.8	4.1
7	1 0 人程度		0.5	1.0	1.7	—	2.8	—	9.7	—
8	5 人程度		—	0.5	0.4	0.1	—	2.0	1.9	—
9	4 人以下		0.0	—	0.4	—	—	—	0.4	—

Q.6 また、小学校の 1 学級あたり、少なくとも何人が必要と思いますか。

(単位：％)

No	回 答	全 体				小規模校(区)			
		保護者 2,811人	地 域 207人	小学生 2,779人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	小学生 269人	教職員 147人
1	4 0 人程度	0.7	—	2.4	—	0.7	—	1.9	—
2	3 5 人程度	1.3	2.9	7.5	0.3	0.4	—	1.5	—
3	3 0 人程度	11.6	16.9	24.3	2.5	8.5	19.6	13.0	2.7
4	2 5 人程度	23.7	17.9	29.2	13.4	14.8	15.7	23.4	8.8
5	2 0 人程度	37.0	31.9	21.1	34.0	36.4	27.5	17.1	31.3
6	1 5 人程度	16.3	16.4	9.3	28.3	17.7	9.8	19.0	29.9
7	1 0 人程度	7.2	8.7	4.1	17.4	17.0	13.7	16.4	23.1
8	5 人程度	1.7	3.9	1.2	3.1	3.5	11.8	5.9	2.7
9	4 人以下	0.5	1.4	1.0	0.9	1.1	2.0	1.9	1.4

Q.7 中学校の1学校(1学年)あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(単位：%)

No	回 答	全 体					小規模校(区)				
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	中学生 4,059人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	中学生 443人	教職員 147人	
1	(1学年7学級以上)				17.2				3.0		
2	1 8学級程度以上(1学年6学級)	25.0	26.3	17.8	20.6	18.1	9.9	5.9	1.4	8.2	
3	(1学年5学級)	33.3			27.1				7.0		
4	1 2学級程度(1学年4学級)	33.3	38.7	27.1	18.3	42.2	31.1	21.6	15.8	27.2	
5	9学級程度(1学年3学級)	33.3	23.2	28.0	11.3	27.3	24.0	33.3	49.2	36.1	
6	6学級程度(1学年2学級)	25.0	6.8	18.8	2.7	9.7	18.7	25.5	12.4	21.8	
7	3学級程度(1学年1学級)	8.3	3.8	7.7	2.1	2.4	11.7	13.7	10.8	6.1	
8	2学級程度 ※複式学級あり		0.8	—		—	2.8	—		—	
9	1学級 ※複式学級あり		0.4	0.5	0.8	0.3	1.8	—	0.5	0.7	

Q.8 また、中学校の1学校(1学年)あたり、少なくとも何学級が必要と思いますか。

(単位：%)

No	回 答	全 体				小規模校(区)			
		保護者 2,811人	地 域 207人	中学生 4,059人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	中学生 443人	教職員 147人
1	(1学年7学級以上)			9.0				1.9	
2	18学級程度以上(1学年6学級)	12.2	10.1	11.9	8.2	4.2	2.0	0.7	1.4
3	(1学年5学級)			21.0				1.8	
4	12学級程度(1学年4学級)	26.5	16.9	23.1	19.3	13.4	11.8	5.4	16.3
5	9学級程度(1学年3学級)	29.4	25.6	22.1	25.2	26.5	31.4	42.9	21.1
6	6学級程度(1学年2学級)	19.2	28.0	9.4	28.2	24.7	23.5	33.4	33.3
7	3学級程度(1学年1学級)	10.4	17.4	3.0	17.8	23.3	31.4	13.8	26.5
8	2学級程度 ※複式学級あり	1.3	1.4		0.8	4.9	—		0.7
9	1学級 ※複式学級あり	0.9	0.5	0.5	0.8	2.8	—	0.2	0.7

Q.9 中学校の 1 学級あたりの生徒数は、どの程度が望ましいと思いますか。

(単位：％)

No	回 答	全 体					小規模校(区)				
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	中学生 4,059人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	中学生 443人	教職員 147人	
1	4 0 人程度	16.7	2.1	2.9	3.5	—	1.4	3.9	3.6	—	
2	3 5 人程度	8.3	13.8	16.9	24.2	3.9	9.2	11.8	13.1	2.7	
3	3 0 人程度	33.3	50.9	44.4	51.6	44.6	42.8	45.1	44.7	34.7	
4	2 5 人程度	25.0	25.3	21.3	14.2	40.2	28.6	17.6	21.0	45.6	
5	2 0 人程度	8.3	6.2	10.1	3.6	10.3	11.0	11.8	8.8	14.3	
6	1 5 人程度(1 5 人まで)	8.3	1.2	2.9	1.4	0.9	5.3	5.9	5.4	2.7	
7	1 0 人程度		0.4	—	0.7	—	1.4	—	2.9	—	
8	5 人程度		0.0	1.0	0.2	—	—	3.9	0.5	—	
9	4 人以下		—	0.5	0.6	—	0.4	—	—	—	

Q.10 また、中学校の 1 学級あたり、少なくとも何人が必要と思いますか。

(単位：%)

No	回 答	全 体				小規模校(区)			
		保護者 2,811人	地 域 207人	中学生 4,059人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	中学生 443人	教職員 147人
1	4 0 人程度	0.9	1.4	1.8	—	0.7	2.0	1.4	—
2	3 5 人程度	3.8	3.4	8.2	0.8	1.8	2.0	3.8	—
3	3 0 人程度	24.9	23.7	31.3	9.0	24.7	23.5	20.3	5.4
4	2 5 人程度	27.5	26.1	29.1	24.5	22.3	19.6	28.0	22.4
5	2 0 人程度	28.8	24.2	19.7	35.9	27.2	27.5	25.5	38.1
6	1 5 人程度	7.9	10.1	4.8	15.7	9.5	7.8	11.5	19.7
7	1 0 人程度	4.7	5.8	2.8	11.3	9.9	7.8	6.3	11.6
8	5 人程度	1.2	3.9	1.2	2.0	2.8	7.8	2.7	2.0
9	4 人以下	0.4	1.4	1.2	0.8	1.1	2.0	0.5	0.7

Q.11 複式学級についてどう思いますか。

(単位：％)

No	回 答	全 体					小規模校(区)				
		保護者 2,811人	地 域 207人	小学生 2,779人	中学生 4,059人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	小学生 269人	中学生 443人	教職員 147人
1	問題ない・やむを得ない	43.6	25.6	60.7	57.3	29.4	41.3	23.5	55.4	54.6	23.8
2	複式学級を避けるための学校規模の 適正化が必要	36.7	41.5	13.9	14.0	41.7	31.1	47.1	17.1	15.1	38.1
3	たとえ少人数になっても複式学級の 編制は避けるべき	18.0	30.9	25.4	28.7	28.4	25.1	29.4	27.5	30.2	38.1
4	その他	1.7	1.9	—	—	0.5	2.5	—	—	—	—

Q.12 上記Q3からQ11の回答において、選択した理由は何ですか。（その他を含め3つ以内）

（単位：％）

No	回 答	全 体				小規模校(区)		
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	教職員 147人
1	切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい	58.3	39.7	40.1	41.2	35.3	39.2	39.5
2	競争意識が生まれやすい	25.0	12.6	15.5	5.9	12.0	19.6	6.1
3	多様な学習形態での授業ができる	50.0	33.8	37.2	50.3	27.9	33.3	46.3
4	多くの行事、イベントを通じた教育がしやすい	33.3	27.1	38.6	26.3	20.5	35.3	25.9
5	教員の目が届きやすく、きめ細かな指導(個別指導)がしやすい	41.7	55.3	54.1	65.4	61.5	47.1	64.6
6	全員で団結や協力がしやすい	25.0	30.2	26.1	24.3	30.7	25.5	23.1
7	個々の活動の場が増え、責任感が育ちやすい	8.3	21.4	30.4	25.2	21.2	37.3	33.3
8	ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気での学習がしやすい	—	12.6	24.2	17.0	17.0	29.4	20.4
9	特にない	—	3.9	1.9	1.2	5.7	—	1.4

Q.13 上記Q3からQ11の回答から、心配されるものは何ですか。（その他を含め3つ以内）

（単位：％）

No	回 答	全 体				小規模校(区)		
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	教職員 147人
1	競争意識が薄くなりやすい	25.0	10.0	14.0	8.7	14.1	27.5	13.6
2	友達関係が固定化し、友人間に序列ができる	25.0	38.6	45.4	48.7	41.0	47.1	59.2
3	子どもの問題に教員が気づきにくい	8.3	37.1	30.4	24.8	24.7	13.7	19.7
4	校庭や体育館での活動に制限が生じる	16.7	11.2	19.8	14.7	8.8	17.6	10.2
5	一人ひとりの活躍の場が減少	—	12.3	29.5	12.9	7.8	33.3	8.8
6	コミュニケーション能力が育ちにくい	—	13.9	17.4	17.2	14.8	13.7	24.5
7	多様な考えに触れる機会が少ない	25.0	21.4	19.8	31.9	30.0	23.5	44.9
8	集団活動・行動に支障が出やすい	8.3	12.0	15.0	16.4	13.4	9.8	17.0
9	P T A活動等において、保護者の負担が多い	—	18.1	12.6	9.1	23.3	21.6	12.2
10	地域や保護者との関係が弱くなりやすい	8.3	3.5	7.7	3.5	3.5	7.8	3.4
11	特になし	50.0	17.5	14.5	15.4	16.3	7.8	9.5

Q.14 学校での「クラス替え」の必要性についてどう思いますか。

(単位：％)

No	回 答	全 体						小規模校(区)				
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	小学生 2,779人	中学生 4,059人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	小学生 269人	中学生 443人	教職員 147人
1	そう思う(必要)	58.3	66.4	67.1	64.8	67.5	73.6	40.3	58.8	21.9	55.1	59.2
2	どちらかというと思う (どちらかという必要)	33.3	25.8	19.8	13.5	13.3	21.7	37.5	19.6	13.8	14.4	27.9
3	どちらともいえない(わからない)	—	6.1	8.2	8.9	10.8	4.2	15.9	11.8	20.4	14.9	11.6
4	不要(どちらかという不要)	8.3	1.0	3.4	5.5	4.5	0.5	3.5	5.9	12.3	5.6	1.4
5	そう思わない(不要)	—	0.8	14.5	7.2	3.9	—	2.8	3.9	31.6	9.9	—

Q.14-2 上記回答の理由として、当てはまるものをお選びください。

(単位：％)

No	回 答	全 体				小規模校(区)		
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	教職員 147人
1	児童生徒同士や児童生徒と教員との人間関係に配慮したクラス編成ができる	25.0	27.7	22.2	52.5	18.8	15.7	44.2
2	児童生徒に新たな人間関係を構築する力を身に着けることができる	25.0	43.3	34.8	24.7	39.1	39.2	24.5
3	児童生徒が多様な意見や考え方に触れる機会が多くなる	33.3	14.2	16.9	10.9	18.1	9.8	10.2
4	クラス替えを契機として児童生徒が意欲を新たにすることができる	25.0	5.1	9.2	7.5	5.1	9.8	8.8
5	クラス内の仲間意識の高揚とクラス同士が切磋琢磨する環境をつくる ことができる	25.0	1.2	3.4	0.9	2.5	5.9	1.4
6	児童生徒同士のつながりが深まりやすい		3.2	5.8	1.5	8.3	5.9	5.4
7	児童生徒がクラス替えによる環境変化のストレスにさらされずに済む		3.9	3.9	1.3	8.0	3.9	4.1
8	その他		1.4	3.9	0.7	2.5	9.8	1.4

Q.15 小学生の片道の通学時間は、どのぐらいの時間までが許容範囲だと思いますか。

(単位：％)

No	回 答	全 体				小規模校(区)		
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	教職員 147人
1	15 分未満	—	32.8	22.7	20.8	39.6	27.5	16.3
2	30 分未満	58.3	62.0	67.6	70.5	57.6	58.8	73.5
3	45 分未満	33.3	4.2	6.3	6.3	2.5	9.8	7.5
4	1 時間未満	8.3	0.5	2.9	1.5	0.4	3.9	2.0
5	1 時間以上でもよい	—	—	0.5	—	—	—	—
6	わからない	—	0.4	—	0.8	—	—	0.7

Q.16 中学生の片道の通学時間は、どのぐらいの時間までが許容範囲だと思いますか

(単位：％)

No	回 答	全 体				小規模校(区)		
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	教職員 147人
1	15 分未満	—	16.1	7.7	6.2	18.4	5.9	5.4
2	30 分未満	8.3	69.3	62.8	66.0	70.7	70.6	68.0
3	45 分未満	33.3	11.0	20.3	20.5	7.4	11.8	21.1
4	1 時間未満	58.3	3.0	8.7	6.4	3.2	11.8	4.1
5	1 時間以上でもよい	—	0.2	—	—	0.4	—	0.7
6	わからない	—	0.4	0.5	0.7	—	—	—

Q.17 小学生の望ましい通学方法をお選びください。（3つ以内）

（単位：％）

No	回 答	全 体		小規模校(区)
		委 員 12人	保護者 2,811人	保護者 283人
1	徒歩	91.7	96.9	97.5
2	自転車	16.7	8.8	12.4
3	公共交通機関	41.7	12.9	7.4
4	スクールバス(通学支援タクシー)	66.7	29.1	27.9
5	家族の送迎	8.3	20.3	20.8

Q.18 中学生の望ましい通学方法をお選びください。（3つ以内）

（単位：％）

No	回 答	全 体		小規模校(区)
		委 員 12人	保護者 2,811人	保護者 283人
1	徒歩	83.3	62.5	47.3
2	自転車	100.0	95.4	97.9
3	公共交通機関	50.0	23.5	15.5
4	スクールバス(通学支援タクシー)	50.0	16.0	20.5
5	家族の送迎	—	9.5	11.0

Q.19 あなたの考える小規模校の「良さ」は何ですか。（その他を含め3つ以内）

（単位：％）

No	回 答	全 体			小規模校(区)	
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	保護者 283人	地 域 51人
1	きめ細やかな指導が期待できる	66.7	69.1	70.0	73.9	32.1
2	友達がいつも同じで関係性が深まる	16.7	15.3	8.7	19.1	2.8
3	ちがう学年の子どもと接する機会が多く、優しさや思いやりの気持ちを育める	58.3	51.4	56.5	63.6	34.0
4	授業や学校行事などで一人ひとりが活躍できる場が増える	58.3	30.6	49.8	41.0	27.4
5	特になし	8.3	6.4	8.7	2.8	1.9

Q.20 あなたが考える小規模校の「課題」は何ですか。（その他を含め3つ以内）

（単位：％）

No	回 答	全 体			小規模校(区)	
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	保護者 283人	地 域 51人
1	多様な意見や考え方に触れる機会が少ない	66.7	47.0	51.7	43.1	60.8
2	友達がいつも同じで好ましくない関係性が深まる		32.7	28.0	27.9	27.5
3	クラス替えができないなど、人間関係が固定される	83.3	66.3	67.6	61.8	74.5
4	学校行事、部活動などが制限される	91.7	36.6	51.7	36.7	54.9
5	清掃活動や学校行事などで、子ども一人ひとりの負担が大きくなる	8.3	8.0	10.1	7.4	9.8
6	教職員の業務負担が大きくなる(担当業務が多岐にわたるため)		11.3	22.2	13.4	—
7	登下校が不安	—	7.1	7.7	9.5	3.9
8	P T Aや地域活動などの保護者負担が増える	—	16.8	10.1	24.7	11.8
9	特になし	—	3.3	1.0	4.2	—
10	その他		0.5	1.4	1.1	2.0

Q.20-2 あなたが考える小規模校の「学習面・生活面での課題」は何ですか。（その他を含め3つ以内）

（単位：％）

No	回 答	全 体	小規模校(区)
		教職員 746人	教職員 147人
1	児童生徒同士や児童生徒と教員との人間関係に配慮したクラス編成ができない	50.5	49.0
2	児童生徒の競争意識が薄くなりやすい	14.6	16.3
3	友達関係が固定化し、友人間に序列ができてしまう	67.2	70.1
4	集団のなかで児童生徒がコミュニケーション能力を身に付けにくい	18.8	21.8
5	児童生徒が多様な意見や考え方に触れる機会が少ない	34.9	34.7
6	集団学習、集団活動、学校行事、部活動などに制約が生じる	24.1	23.1
7	男女比の偏りが生じやすい	5.8	4.1
8	協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる	7.0	7.5
9	生徒指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が大きく影響を受ける	19.2	26.5
10	登下校が1人になるなど、安全面で心配が増す	5.0	4.1
11	その他	0.1	—

Q.20-3 あなたが考える小規模校の「学校運営面での課題」は何ですか。（その他を含め3つ以内）

（単位：％）

No	回 答	全 体	小規模校(区)
		教職員 746人	教職員 147人
1	経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教職員配置が困難	51.3	44.9
2	ティーム・ティーチングや習熟度別指導が実施できない、免許外指導の教科が生まれるなどの可能性がある	26.0	24.5
3	児童生徒への多面的な評価や多様な価値観に触れさせる機会が減る可能性がある	21.4	24.5
4	教職員 1 人あたりの校務や行事に関わる負担が重くなる	76.3	81.6
5	学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導について、相談、研究、協力、切磋琢磨できない	17.6	25.2
6	複式学級の場合、教員に特別な指導技術が求められる	25.5	19.7
7	平日の校外研修やむ出張に参加しにくい	15.8	16.3
8	休暇の取得が難しい	15.1	20.4
9	その他	0.4	—

Q.21 あなたは、小規模校の対策として、学校統合を含む学校の適正規模・適正配置は必要だと思いますか。

(単位：％)

No	回 答	全 体				小規模校(区)		
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	教職員 147人
1	そう思う(必要)	41.7	24.4	25.6	29.9	15.5	23.5	24.5
2	どちらかというと思う(どちらかという必要)	41.7	38.7	35.3	42.0	30.4	29.4	36.7
3	どちらともいえない(わからない)	8.3	29.0	23.2	22.1	36.4	25.5	27.2
4	どちらかというと思わない(どちらかという不要)	—	4.7	7.2	4.6	8.1	7.8	8.8
5	そう思わない(不要)	8.3	3.2	8.7	1.5	9.5	13.7	2.7

Q.22 学校の適正規模・適正配置で重視すべき点は何ですか。（その他を含め3つ以内）

（単位：％）

No	回 答	全 体				小規模校(区)		
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	教職員 147人
1	児童生徒・学級の規模(数)	58.3	54.6	46.9	66.4	46.3	41.2	58.5
2	通学距離・通学時間	41.7	66.3	59.9	55.4	63.6	52.9	51.7
3	通学路・通学方法の安全性	16.7	53.8	41.1	38.9	51.2	37.3	34.0
4	現在の校区の維持	8.3	10.7	18.8	6.8	13.8	19.6	10.2
5	学校と地域コミュニティのつながり	8.3	11.3	30.0	20.6	17.7	33.3	27.2
6	地域の意向	16.7	3.3	14.0	11.7	5.3	25.5	17.7
7	保護者、子どもたちの意向	50.0	36.6	34.8	34.3	41.7	29.4	40.8
8	人口やまちづくりの将来ビジョン	50.0	9.2	20.3	13.7	10.2	29.4	17.0
9	その他		0.5	0.5	0.4	0.7	2.0	—

Q.23 地域の一員として(コミュニティが)学校に求める機能は何です(と思います)か。(その他を含め3つ以内)

(単位：%)

No	回 答	全 体				小規模校(区)		
		委 員 12人	保護者 2,811人	地 域 207人	教職員 746人	保護者 283人	地 域 51人	教職員 147人
1	子どもたちが快適に学習できる環境	83.3	91.5	89.9	93.8	92.9	86.3	96.6
2	子どもたちの放課後の居場所・活動場所	25.0	50.7	47.8	30.7	45.6	41.2	29.3
3	地域の文化・スポーツ活動の拠点	50.0	22.2	35.7	22.4	23.3	—	29.3
4	地域の生涯学習の拠点	25.0	7.2	13.5	10.2	7.8	9.8	9.5
5	地域の子育て支援施設としての機能	33.3	20.7	27.1	18.1	20.1	25.5	17.0
6	地域の高齢者福祉施設としての機能	—	0.8	3.4	0.9	1.1	3.9	1.4
7	地域の障害福祉の拠点	—	1.4	1.0	1.3	0.4	—	1.4
8	地域防災の拠点	66.7	31.1	37.7	32.8	26.9	41.2	38.8
9	選挙の投票所	—	0.8	0.5	1.3	0.7	—	0.7
10	行政窓口サービス等の拠点	—	0.6	1.0	0.3	1.1	3.9	—
11	その他		0.4	1.4	0.3	0.4	2.0	0.7